

※太いわくの部分は、調べたり考えたり写したりしてノートにまとめていきます。

5月18日(月) 教科書P20・21

めあて

平和主義がわたしたちのくらしとどのようにつながっているか考える。

問題

平和主義とはどのようなことだろう。

資料ウを見て、平和主義についてどのようなことが分かるか書きましょう。

平和主義とは「戦争を二度とくりかえさない」ということでしたね。

平和主義を制定するに至った日本の戦争について調べてみましょう。

日本が戦った戦争

- ・日本は、()年から()年にかけて中国やアメリカなどの国々と戦争をした。
- ・()にアメリカ軍が上陸し、住民を巻き込み激しい戦闘が行われた。
- ・()や()には原子爆弾が投下され、多くの命が奪われた。



アジアをはじめ外国にも大きな損害をあたえた。

唯一の被爆国として、日本が行っている平和を守るための取り組みを調べましょう。

4 平和主義とわたしたちの暮らしのつながりについて、次の問題に答えましょう。

(1) ()の中にあてはまる言葉を書きましょう。

<日本国憲法 第9条より>

日本国民は、正義と秩序^{ちつじょ}にたつ国際平和を心から願って、(⑰) や武力を用いることは、
国々^{こくご}の間の争いを解決する手段としては、永久にこれを放棄^{ほうき}する。

この目的を達するため、陸海空軍その他の(⑱) はもたない。国の交戦権^{みと}は認めない。

※太いわくの部分は、調べたり考えたり写したりしてノートにまとめていきます。

5月19日(火) 教科書P22・23

めあて

国会とわたしたちのくらしがどのようにつながっているかを考える。

問題

国会には、どのような役割があるのだろう。

資料ウを見て、国会について分かることを書きましょう。

国会では法律をつくったり、予算や条約の承認をしたりする役割（立法）があるんだね。

選挙で選ばれた衆議院と参議院によって組織されているんだね。

資料エを見て法律がどのようにしてできるかについて考えてみましょう。

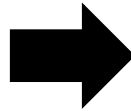
法律ができるまで

- ① 議員や内閣が()を作る。
- ② 衆議院か参議院の()にわたされ、
委員会で話し合う。
- ③ ()で話し合い、可決されるともう一方の
議員に送られる。
- ④ 可決されると成立し、()が公布する。

衆議院と参議院の両方で話し合うのはなぜでしょうか。

(予想)

(調べたこと)



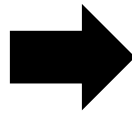
国の政治の方針を決める重要な仕事なので、慎重に決定しなければいけないね。

資料エを見ると、衆議院と参議院では立候補できる人や任期がちがうのが分かるね。

資料クを見ると、たくさんの方が演説を聞いています。何のために演説を聞いているのか考えましょう。

(予想)

(調べたこと)



国会議員は公平に選挙で選ばれるんだね。

選ばれた議員は国民の代表だね。国民主権の考え方が生かされているね。

選挙のときは立候補者の考えをよく知ってから投票しないとイケないね。

国会とわたしたちの暮らしについてわかったことをまとめてみましょう。

※太いわくの部分は、調べたり考えたり写したりしてノートにまとめていきます。

5月20日(水) 教科書P24・25

めあて

内閣の働きは、わたしたちの暮らしとどのように関わっているか考える。

問題

内閣はどんな仕事をしているのだろうか。

国が行っている仕事にはどのようなものがあるでしょう。

国民の暮らしをよくする仕事。

外国と交渉したり交流したりする仕事。

道路や橋などまちの整備を整える仕事。

たくさん仕事がありますね。道路や橋を作ったり、外国と交渉したりするのは専門の知識も必要になってきますね。

国会で決められた予算を使って、実際にこれらの国民の暮らしを支える仕事をしているのは内閣です。

内閣の仕事を教科書を見て調べてまとめましょう

内閣のしくみをまとめましょう。



(首相・最高責任者)



任命



(～大臣)



仕事の指示



(行政・仕事を分担して進める)

閣議

政治の進め方を話し合う。

資料エにあるように、内閣にはたくさんの府・省・庁がありますね。

内閣にある府・省・庁の中から興味のあるものの仕事内容を調べ、まとめてみましょう。

※太いわくの部分は、調べたり考えたり写したりしてノートにまとめていきます。

5月21日(木) 教科書P26・27

めあて

裁判所とわたしたちのくらしがどのようにつながっているかを考える。

問題

裁判所には、どのような役割があるのだろう。

写真Aは何をしている様子でしょうか。考えを書きましょう

何かがあって、裁判が行われているね

人々の間で起こった問題を解決するのが裁判所の仕事です。

教科書の資料を見ながら、裁判所はどんな仕事をしているのか調べてみましょう。

裁判所のしごと・しくみ

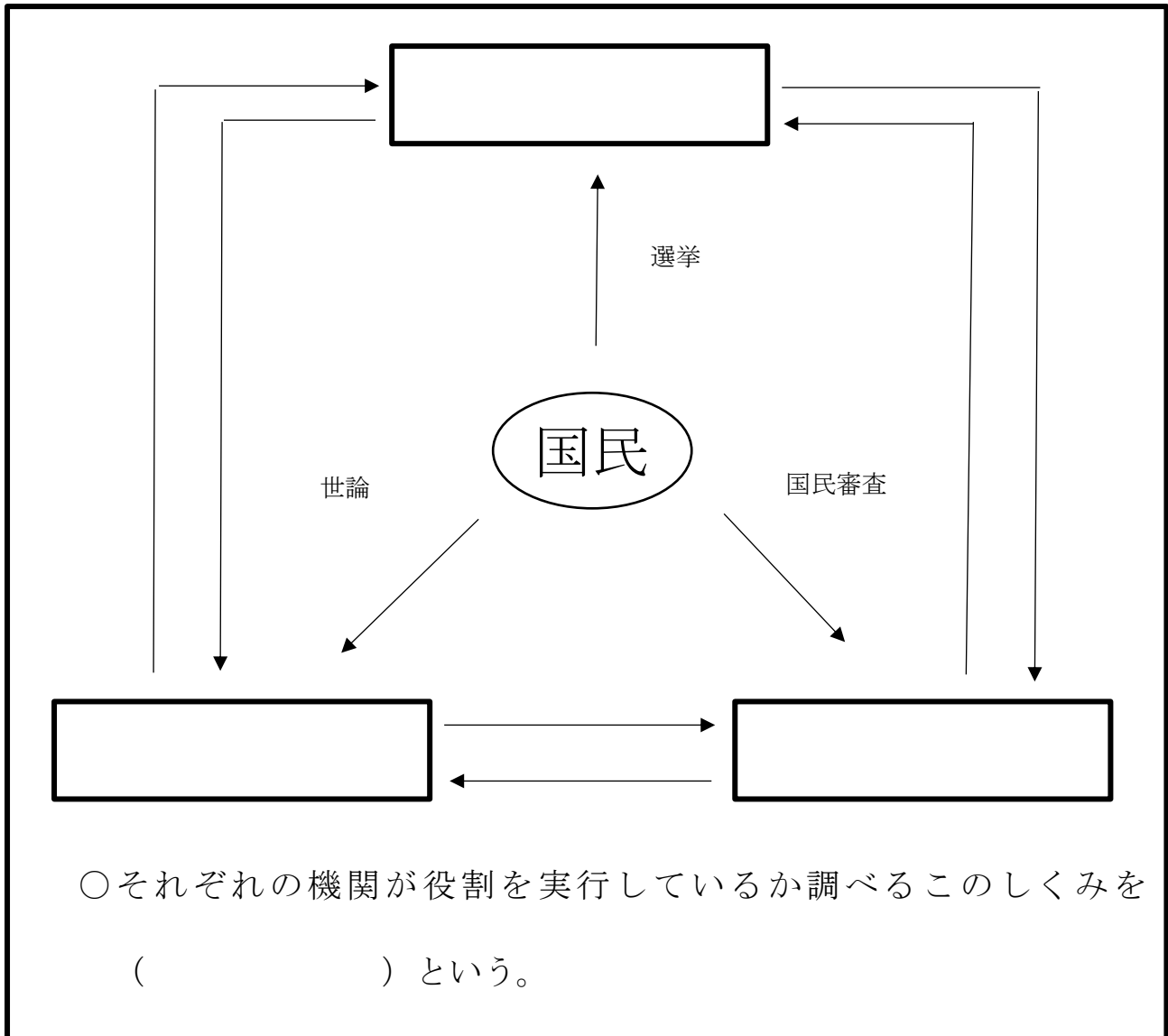
- ① 争いごとや犯罪を()や()にもとづいて判断し、解決する。(司法)
- ② ()回まで裁判を受けられる。
- ③ 裁判は()傍聴できる。
- ④ 選ばれた国民が裁判に参加する→()制度

裁判の判決は重要な意味をもつので、間違いが起きないように公正で慎重な判断がもとめられるね。

将来裁判員に選ばれたら、あなたはどのようにしますか。考えを書きましょう。

裁判の判決は責任が重いけれど、自分達も参加できることでより信頼できるものになるね。

これまでに、国会（立法）・内閣（行政）・裁判所（司法）がわたしたちの暮らしにどのように関わっているのか学びを深めてきました。それぞれの機関のしくみやつながりを図にまとめてみましょう。



5 国の政治のしくみについて、下の問題に答えましょう。

(1) 国の政治を担^{にな}っている三つの機関は何ですか。

(2) 国会を構成している二つの議院は何ですか。

(3) 次の文章の（ ）にあてはまる言葉を書き入れましょう。

国の政治を進める^{やくわり}役割を（ ）・（ ）・（ ）に分け、それぞれの仕事を国会・^{ないかく}内閣・裁判所が行っています。このしくみを、（ ）といいます。

国会・内閣・裁判所は、それぞれの役割を実行するとともに、おたがいの役割がきちんと実行できているかを（ ）役割ももっています。